

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	こども家庭相談課長 矢作 拓	
こども-19	ファミリー・サポート・センター事業	■ 自治事務	主管課	こども家庭相談課
		□ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て家庭への支援

1 事業の目的				
対象	子育て家庭等			
意図	育児等の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。			
効果	地域ぐるみで子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。			

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要				
育児等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。 市役所第6分庁舎「かまくらこども相談窓口きらきら」において、ファミリサポートセンター出張窓口を月に1回開設し、利便性の向上に努めた。				

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	ファミリーセンター事業	ファミリーサポートセンター運営委託料等	ファミリーサポートセンターを利用した人の数(人)	2,975 /	2,120	2,120	140.3%
02				13,232 /	13,399	14,340	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	8,820 /	8,952	8,970	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	4,412 /	4,447	5,370	
		事業費の合計(千円)		13,232 /	13,399	14,340	
		人件費(千円)			3,146	2,561	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.8	0.4	0.4	0.4	0.3
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	ファミリーセンター事業	- 令和6年度の利用者数は、前年の2,825人から約5%増加して目標を上回ることもできた。より利用者数の増員に努めた。 - 目標を超える多くの方に利用してもらうことができた。	子育て支援を地域の支え合いで取り組むとともに地域共生社会の理念にも合致し、施策の方針中、子育て家庭への支援に寄与した。	ファミリーサポートセンターの支援会員のスキルアップを行う。支援会員は有償ボランティアの位置付けであり、依頼会員の要望を全て叶えることが難しい時がある。他の支援策も検討していく。玉縄青少年会館の会議室を暫定利用しているが、公共施設再編計画において、同館は閉館予定と位置付けられているため、令和7年度に福祉センターに移転する。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充 ☒ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
多様な市民ニーズに対応するため、引き続き支援会員のスキルアップ及び支援会員の増員を図るとともに、令和5年4月に開設した鎌倉市こども相談窓口さらさらでの出張窓口を月1回の頻度で開始した。こうした場の増加も運営事業者とも協議、検討していく。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
事業のニーズを把握するため	目標値	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120	
	実績値	2,883	3,412	3,291	2,825	2,975		
	達成率	136.0%	160.9%	155.2%	133.3%	140.3%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方